

# オーム社図書館だより

発行 オーム社 営業1部営業企画室 2021年2月9日

## 『看護必要度 Q&A (第4版)』

— 令和2年度改定に対応！基本から実践へ、  
ステップアップのための手引書 —

田中彰子・筒井孝子監修 看護 WiseClipper 回答者チーム編

### 【監修者】

田中彰子 (たなかあきこ)

慶應義塾大学厚生女子学院卒業、  
佛光大学教育学研究科修士課程修了  
横浜創英大学看護学部長 大学院  
看護学研究科長

筒井孝子 (つづいたかこ)

筑波大学大学院教育学研究科 修了  
日本大学大学院医学研究科 修了  
兵庫県立大学大学院経営研究科教授

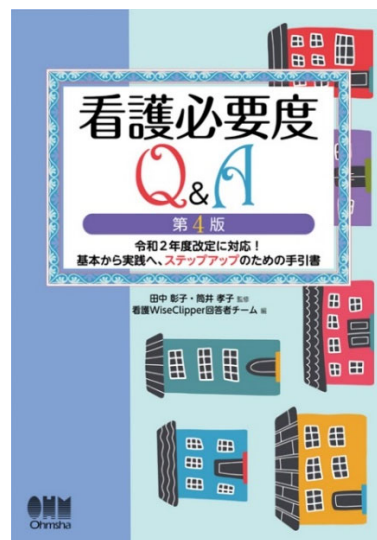
### 主要目次

- Step1. 令和2年度診療報酬改定内容について教えてください
  - Step2. 看護必要度の概要を教えてください
  - Step3. 看護必要度の評価方法を教えてください
  - Step4. ABC項目の基本的な考え方について教えてください
  - Step5. 日常生活機能評価票の基本的な考え方を教えてください
  - Step6. A項目の個別評価は？
  - Step7. B項目の個別評価は？
  - Step8. C項目の個別評価は？
  - Step9. 日常生活機能評価の個別評価は？
  - Step10. その他の項目の個別評価は？
  - Step11. 看護必要度の評価の実践方法について教えてください
  - Step12. 看護必要度を活用したステップアップ方法について教えてください
- 付録1～付録7

2021年2月19日発売！

令和2年度診療報酬改訂に対応！

【司書の皆様へ】



看護必要度の診療報酬改定では、過去にはC項目の追加があり、続いての改定では必要度IIが追加され、そして今回の令和2年度の診療報酬改定では、B項目の評価方法の変更、必要度Iにもレセプト電算処理システムコードの適用、C項目の項目追加等多くの改定がなされてきました。本書では、これらの改定が現場での評価の実施や評価結果の管理について、どのように影響し、どのように対応す

れば良いのかを現場視点で具体的に解説しています。

また、第3版までの解説を今回の診療報酬改定に合わせて書き直しただけでなく、レセプト電算処理システムコードの適用方法、院内研修の実施方法、さらには、看護必要度の評価結果のデータ管理や活用方法について解説をしています。

看護必要度の評価をされている方々、その指導をされている方々、そして看護必要度の仕組みを理解したい医療関係者に必読の手引書としてご活用ください。

定価 2,860円 (本体 2,600円+税) A5 306頁  
ISBN 978-4-274-22645-8

オーム社 営業1部営業企画室 TEL03-3233-0534

〒101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1

※ご注文は従来通り、お取引の書店、生協、TRC様へお願い致します。

配信停止をご希望の場合は、お手数お掛け致しますがお電話をいただけるかFAXにてご連絡くださるようお願い申し上げます。